

タブレット活用事例

氏名	大畑洋平	教科など	英語
使用ソフト	Google Drive、ロイロノート		

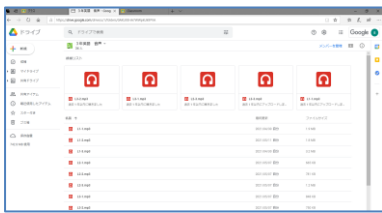
目的、および生徒の変容を検証する内容

リスニングに課題を感じている生徒が多かった。音声の変化や脱落など話される英語についての知識を理解し、発音できるようにすることを通じて解決をはかった。また自分で課題に気付き、改善できるような工夫もした。

実践内容

<3年生英語>

- ①教科書本文の音声を Google Drive、共有フォルダに入れて、生徒がいつでも聞けるようにした。
- ②本文の授業の後に、シャドーイングの学習活動を導入。
- ③生徒は、単元の指定された部分の音読をロイロノートに録音して、提出箱に提出。(家庭学習)
- ④教師が音声ファイルを聴いて評価する。評価規準は学習指導要領に記載された5観点。
- ⑤生徒に評価規準を提示。具体例を交えて理解させる。
- ⑥生徒に自分の音声を聴かせて自己評価させる。教師は自己評価が正しいか指導する。
- ⑦次の単元では、前の単元の課題を踏まえて音読の録音を提出させる。



①



③

【知識・技能】

ア 音声

- (ア) 現代の標準的な発音
- (イ) 語と語の連結による音の変化
- (ウ) 語や句、文における基本的な強勢
- (エ) 文における基本的なイントネーション
- (オ) 文における基本的な区切り

④

(イ) 語と語の連結による音の変化

- ① 2語が連結する場合
Take it easy. ○ テイキリーシー × テイク イットウ イージー
- ② 2語が連結し、一部の音が脱落する場合
What time is it now? ○ ワツタイム × ワットウ タイム

⑤

(ウ) 語や句、文における基本的な強勢

- 語 interesting ○ インタラスティック × いんたらすていんぐ
 - 句 in the bed ○ インツベツト × いんざべつど
 - 文 I want the car. ○ アイワンツカー × あい わんとざカー
- ※名詞、動詞、形容詞などの内容語には強勢が置かれて強く発音されることが多い。

○成果 ・ ◎生徒の変容 ・ ▲課題

- ・教科書音声を生徒に提供できた。必要な人が何度も聴ける個別最適化の環境整備となった。
- ・音読の学習活動を、家庭学習の充実という観点で実施できた。
- ・音声の録音により自己評価が容易になった。自分の課題を認識して調整し、ねばりづよく改善に向かう主体的な態度の育成につながった。
- ◎・自分の発音に納得できないと何度も録音と自己評価を繰り返した生徒がいて、生徒の発音が劇的に改善した。
- ・授業の音読の学習で、音の変化や脱落などの意識が高まった。「ここはこれで合っていますか。」と確認するようになった。
- ▲・音読の音声ファイルを聞き、評価するのに時間を要する。学期に一回程度にするか、ALT の協力を得たい。